事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 平成 31年 2 月 9日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校

		チェック項目	はい	どちらともい えない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		0		指導員が4名体制であるため、4支援行 う際は組み合わせなどを工夫しているが、ス ペースに余裕がない。
・体制整	2	職員の配置数は適切であるか	0			職員は資格が明記されている名札を使用 している。また、職員の配置については面談 の際に保護者にお伝えしている。
備	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか	0			目につくと集中出来ないものは指導員室に 置き、集中して取り組めるよう配慮してい る。トイレはバリアフリーである。
	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	0			DCA サイクルとして明確に動いていない場合も多いので、広く職員同士意識できるように明文化していく。
業	(5)	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか	0			今回のアンケートをもとにすぐに改善できる ものと段階が必要なものとに分類化し、業 務改善につなげる。
務改善	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか	0			事業所内で評価結果を周知するとともに、 評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか			0	第三者評価は現在行っていない。今後必 要に応じて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確 保しているか	0			月に一度福山ブロックにて研修会を実施し、スキルアップに努めている。
適切	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか	0			受付シートに記入してもらった後、聞き取り にてアセスメントを行い、体験・支援計画作 成している。
な支	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか		0		アセスメントシートを利用しているが、今後は 様々なツールを取り入れたい。
援の提供	(1)	活動プログラムの立案をチームで行っているか	0			児発管と担当指導員、必要に応じて他の 指導員のアドバイスを得て支援プログラムを 立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0			日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしている。

	(13)	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		0		平日・休日関係なく45分療育、15分振り返りの1時間の支援なので、大きく課題を変えることはない。こどもの状況に応じて配慮する場合はある。
	14)	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか	0			個別療育であるが、集団につながるための SST なども実施、こどもの状況に応じて不 定期に行っている小集団の SST に参加し てもらっている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか	0			朝のミーティングにて必要な連携の確認を行う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか	0			終了前のミーティングでその日の状況の確認、次の日の必要事項を確認している。
	17)	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか	0			日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか	0			日々の振り返りに加え、定期的にモニタリン グで支援計画について見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか	0			こどものニーズに合わせて複数組み合わせ て支援を行っている。
関係機	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか	0			サービス担当者会議が行われる際は、児 発管が参加するようにしている。
関や保護	21)	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		0		連携のできている学校もあるが全てではない。連携できる学校や期間を増やしていきたい。
者との連	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		0		ハード面や時間設定から利用される方は 現在いないが、利用されるのであればきちん と連携を取っていく。
携 関 係 機	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか			0	連携の姿勢はあるが実施できていない。家 族や相談支援機関とうまく連携して実施し ていきたい。
関や保	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか			0	連携の姿勢はあるが実施できていない。家 族や相談支援機関とうまく連携して実施し ていきたい。
護者との	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0			子供発達支援センターと連携を取らせても らっておる。またセンター主催に研修会にも 参加している。

連携	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		0	交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0		連絡協議会の定例会には毎回出席をしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか	0		日々の振り返りの中で共通理解を持っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか		0	家族へのアドバイスや相談に乗ることはある が家族支援プログラムとして明確には行って いないため、今後勉強していきたい。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか	0		契約時に丁寧に説明している。
者への説	31)	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	0		日々の振り返りやモニタリング時、必要に応 じて時間を取って保護者の相談に応じてい る。
明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		0	現在は全く行えていないが、必要との声を 耳にすることが多くなっている。今後は事業 所として計画し行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦 情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	0		迅速に対応している。
	34)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか		0	1~2ヶ月に1回会報を発行し、活動概要や予定、避難訓練や必要と思われる周知事項について定期的に発信していく。
	35)	個人情報に十分注意しているか	0		鍵のかかる書庫にて管理している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか	0		視覚的ツール等活用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		0	地域の方が参加できるようなイベントは実施 していないが、問い合わせがあればどの方で も来ていただけるようにしている。
非常時	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか	0		各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対 する訓練も月に 1 回程度で行っている。
等 の	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか	0		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。
対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか	0		1年に1回以上研修を行っている。

41)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0		運営規程や身体拘束についても重要事項 説明書に明記し、該当する児童がいれば 対応していく体制を整えている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか		0	支援中に食事をとることがない。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか	0		ヒヤリハットの事例について自事業所の分 はもちろん自社提携の事業所の情報も共 有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表: 平成 31年2月9日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」東福山校 保護者等数(児童数) 41 回収数 36 割合 87 %

		チェック項目	はい	どちらともいえ ない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環 境 •	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か	34	2	0	個室での対応が必要であるが個室が使用 中であり場合には、相談室を使用している。
体制	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	36	0	0	
整備	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか	33	3		玄関にスロープがあれば安全に来所できる。
適切な	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	36			以前の担当は頼りなかったが、今の担当は 課題を把握し満足している。
支援	(5)	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されている か	32	4		今後は固定化しないよう新しい取り組みも いれていきたい。
の提供	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	31	
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか	35	1		保護者の送迎がない場合、子どもの状況 を伝える機会が少なくなってしまう。電話や 連絡帳の活用を検討したい。
/=	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34	2		高い学習面での助言ができるスキルを職員 全員が身に着けていくよう研修を行う。
保護者へ	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か		6	30	交流し情報交換の場として 保護者同士の 会を設けてほしい、との要望があったので、 実施していきたい。
の説明等	11)	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36			苦情の相手が前任の管理者で言えなかったとのご意見があったので、会報を作り、教室外にも相談できる期間があることの紹介を行う。
	12)	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか	34	2		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	10	24	会報のような情報発信ツールの要望があったため、他の設問でもあった課題 (職員の 資格や避難訓練等の情報の発信)も踏まえて会報を定期的に刊行していく。

		14	個人情報に十分注意しているか	36	0		
	非常等等	(15)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて いるか	5	30	1	不審者対応はどうなっているのか等の意見 がありましたので毎月の訓練状況等を会報 などで発信していく。
	ずの対応	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	28	3	訓練結果を掲示し周知を徹底したい。また 開放などでも発信していく。
ì	莇	17)	子どもは通所を楽しみにしているか	36			今後も引き続き、楽しみにしてもらい、かつ 療育の成果も出していきたい。
	正法	18)	事業所の支援に満足しているか	36			保護者やこどもの気持ちやニーズに寄り添い、満足いただける支援を続けていけるよう 努力を続けていきたい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

ii